

### 3. データシートの作成

#### 3-1. マスターシートの構成

Excel を立ち上げ「マスターシート」を開きます。

ダイアグラムを作成するには、各タクサに対応した基礎情報入力用の「FMNBUN」シート、「fmncode」シート、各タクサの生データ入力用の「有孔虫シート」、柱状図の生データ入力用の「柱状シート」が必要です。

#### 3-2. 「FMNBUN」シートの入力方法

表 3-1 に「FMNBUN」シート書式を、図 3-1 に「FMNBUN」シートの入力例を示します。

表 3-1 「FMNBUN」シート書式

セル名	セルの色	使用可能文字	斜体	区分数	入力件数
区分名	黄色	全角、半角	使用不可	5	1
分類名	黄緑色	全角、半角	使用不可	5	10

「区分名 1～10」に、それぞれに対応した区分名(たとえば、「生息域」、「殻の成分」)を入れます。「区分名」の数が 10 未満の場合、左から順にお使いください。

「分類名」に、それぞれに対応した分類名(たとえば、「Abyssal」、「unknown」、…)を入れます。

「分類コード」の「1～10」は、後述の「fmncode」シートの「1」～「10」のコードに対応します。

	A	B	C	D	E
1	分類コード	生息域	殻の成分		
2	1	Abyssal	Agg.		
3	2	unknown	Calc. Porc.		
4	3	Neritic	Calc. Hyaline		
5	4				
6	5				
7	6				
8	7				
9	8				
10	9				
11	10				
12					
13					

図 3-1 「FMNBUN」シートの入力例

〈参考〉 有孔虫ダイアグラムの総合ダイアグラムでは、「FMNBUN」シートの「区分名」毎のグラフが描かれます。「区分名」、「分類名」に入力した文字が、総合ダイアグラムに凡例として書き込まれます。

### 3- 3. 「fmncode」シートの入力方法

表 3- 2 に「fmncode」シート書式を、図 3- 2 に「fmncode」シートの入力例を示します。

表 3- 2 「fmncode」シート書式

セル名	セルの色	使用可能文字	斜体	区分数	入力件数
コードNo.	黄緑色	半角数字(1~999)	使用不可	1	999
学名(属名)	黄色	半角	使用可能	1	999
学名(種名)	黄色	半角	使用可能	1	999
区分名	水色	半角数字(1~10)	使用不可	5	999

「コードNo.」に「1」～「999」までの任意の数(順不同)を入力します。

「学名(属名)」、「学名(種名)」には、学名を属名と種名に分けて入力します。「学名」に斜体で入力した文字は、DMD 上でも斜体で表示します(設定によっては、斜体が解除されることがあります。Ver.1 シリーズでは、斜体で入力しても標準の書体で表示していました。)

「区分名 1 ~ 10」には、「FMNBUN」シートで設定した各区分名の分類名に対応する「1」～「10」のコードを入力します。

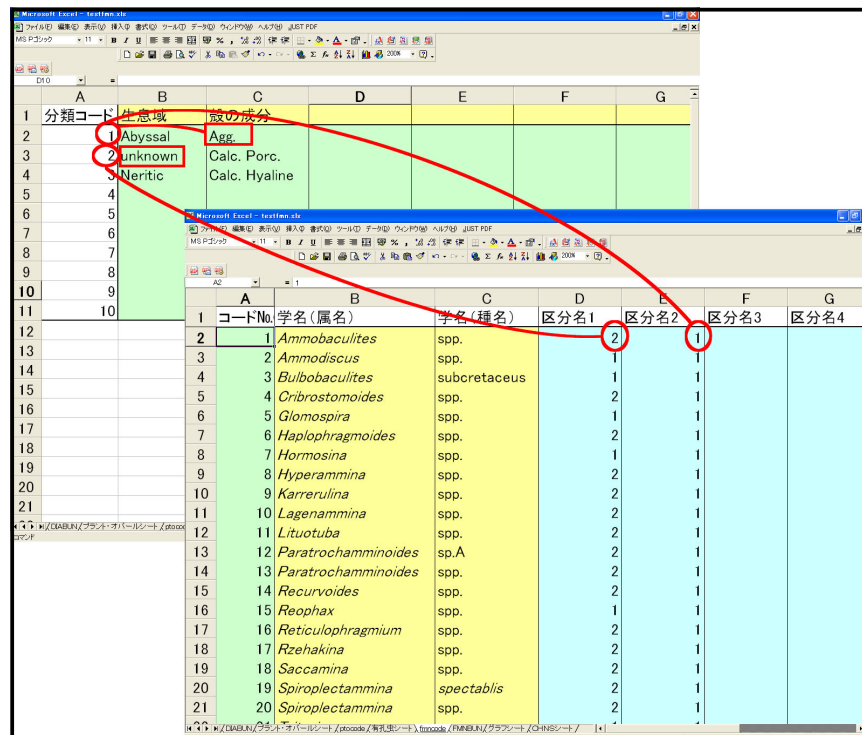


図 3- 2 「fmncode」シートの入力例および「FMNBUN」シートとの関係

<参考>総合ダイアグラムでは、「1」～「10」のコード毎に集計した累積百分率のグラフが描かれます。「fmncode」シートに「0」または「11」以上の数を入力した場合は空欄と見なし、百分率算出時の基数に含みません。

### 3- 4. 有孔虫シートの入力方法

表 3- 3 に「有孔虫シート」書式を、図 3- 3 に「有孔虫シート」の入力例を示します。

表 3- 3 「有孔虫シート」書式

セル名	セルの色	使用可能文字	斜体	入力件数
柱状図名	赤色	全角、半角	使用不可	1
試料No.	水色	半角	使用不可	500
深度上限	水色	半角数字	使用不可	500
深度下限	水色	半角数字	使用不可	500
コードNo.	黄色	半角数字	使用不可	252
カウント数	黄緑色	半角数字	使用不可	500×252

「柱状図名」には柱状図名(地点名)を入力します。

「試料No.」、「深度上限」、「深度下限」には、入力する試料の試料No.、採取深度の上限値、採取深度の下限値をメートル単位で入力します。

「コードNo.」には「fmncode」シートで指定したタクサに対応するコードNo.を入力します。

「カウント数」には計数した実数を入力します(百分率は、描画時に自動計算します。)

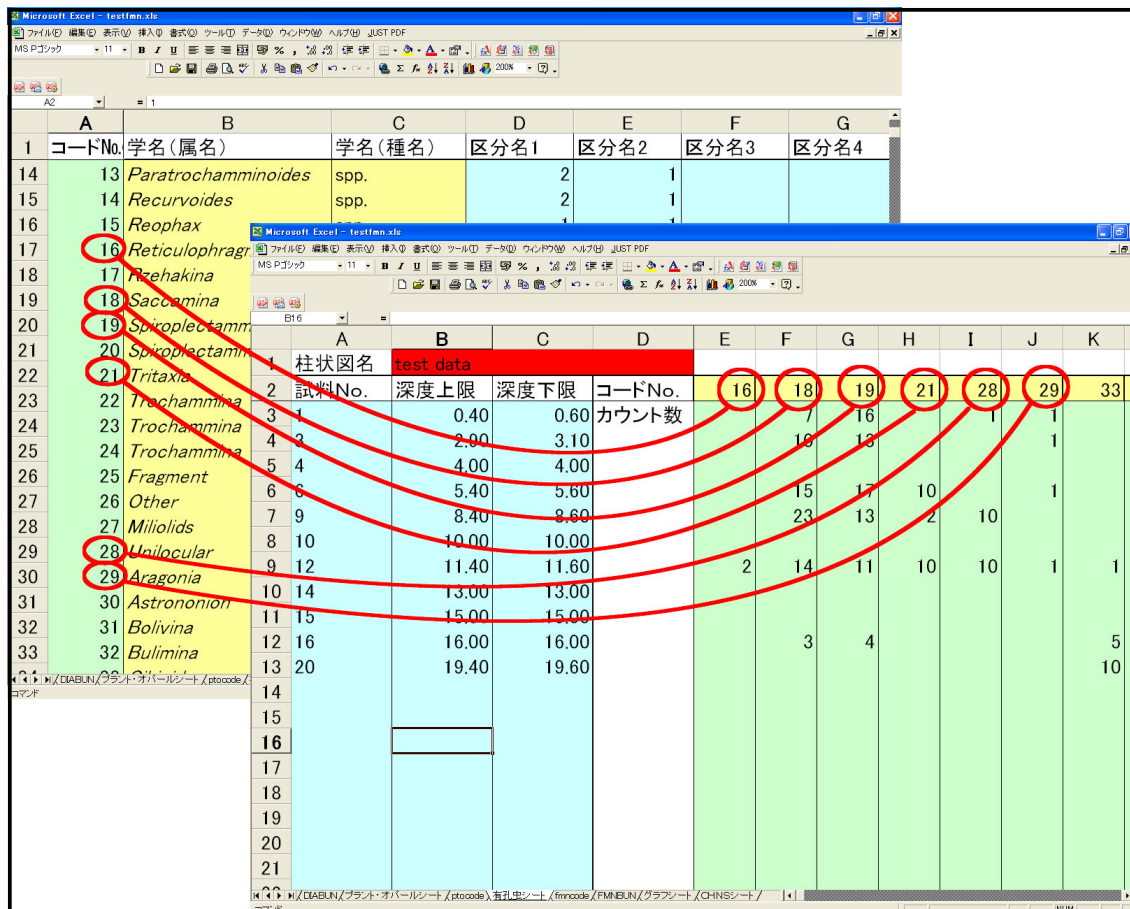


図 3- 3 「有孔虫シート」の入力例および「fmncode」シートとの関係

### 3- 5. 柱状シートの入力方法

表 3- 4に「柱状シート」書式を、図 3- 4に柱状シートの入力例と打ち出し柱状図を、図 3- 5に柱状図記号一覧表を示します。

表 3- 4「柱状シート」書式

セル名	セルの色	使用可能文字	斜体	入力件数
深度	水色	半角数字	使用不可	200
コード	黄緑色	4桁の半角数字	使用不可	200

「深度」には、柱状図の下限值(深度)をメートル単位で入力します。

「コード」は図 3- 5の柱状図記号一覧表を参照し、4桁のコード(半角数字)の組合せで入力してください。

該当する項目がない桁には「0」を入力してください(たとえば、表土は「1000」、貝殻混入シルト質粘土は「0124」、シルト質細粒砂は「0320」です。)

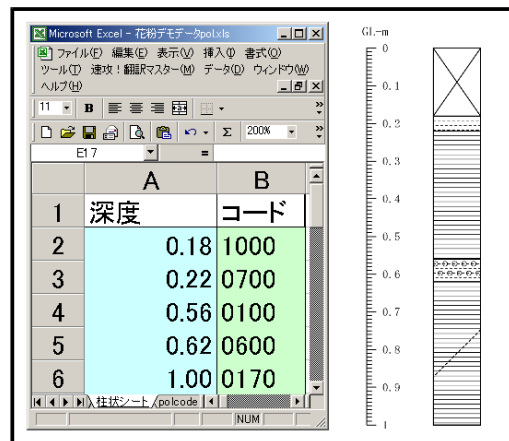


図 3- 4「柱状シート」の入力例と打ち出し柱状図

コード文字	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
1	表土	粘土	粘土質	礫混入
2	埋土	シルト	シルト質	玉石混入
3	崩積土	細粒砂	砂質	腐植物混入
4		中粒砂	礫混り	貝殻混入
5		粗粒砂	粘土混り	貝・腐植物混入
6		砂礫	シルト混り	浮石混入
7		砂	砂混り	転石
8		火山灰	凝灰質	
9		腐植土	腐植質	

図 3- 5 柱状図記号一覧表(沖積層)

### 3- 6. データファイルの保存方法

入力が終わりましたら、名前を付けて保存します(「ファイル」→「名前を付けて保存」)。保存データの最後には識別文字をつけます。識別文字は半角小文字で「fmn.xls」です(完全版の識別文字は「dmd.xls」です。)

例-「test」という名前のファイルを作る場合「testfmn.xls」としてください。

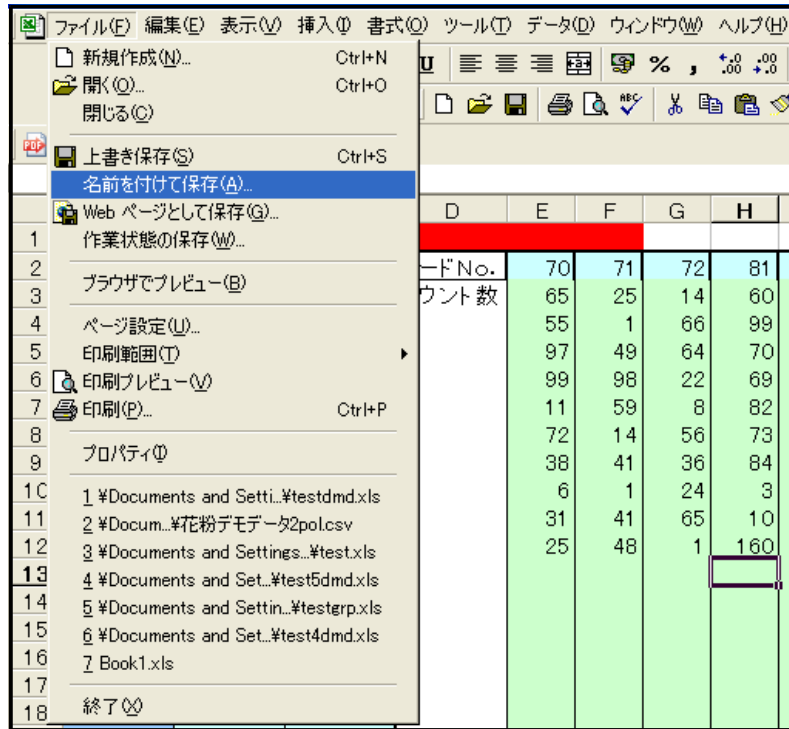


図 3- 6 「ファイル」画面

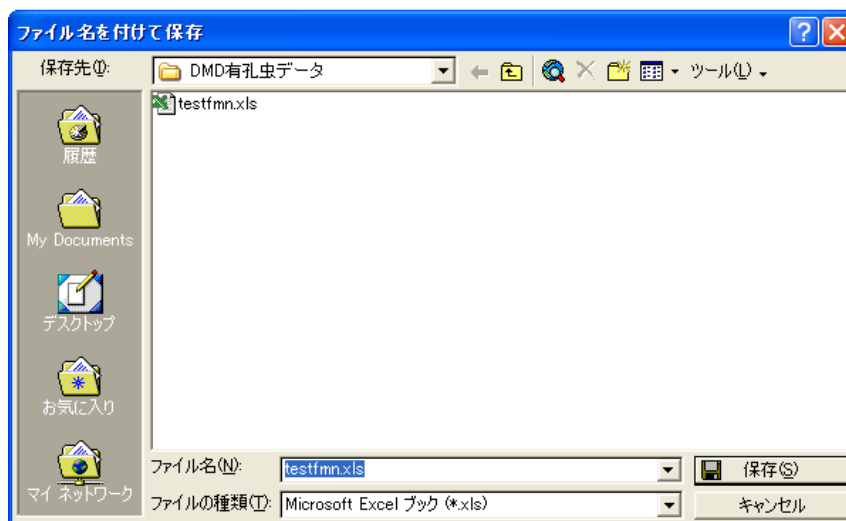


図 3- 7 「名前を付けて保存」画面

## 4. 出カイメージの表示

①インストールしたフォルダ「DMD」の中から、アプリケーションプログラム「DMD.exe」を実行します(図 4- 1)。

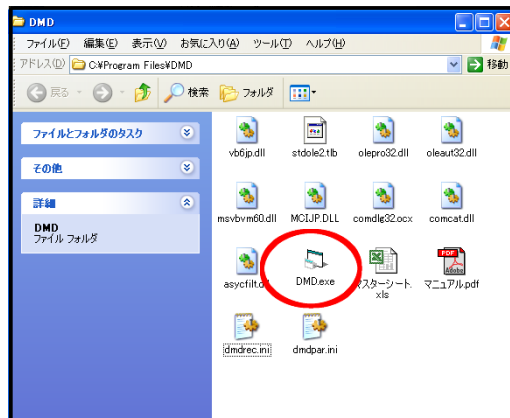


図 4- 1 フォルダ「DMD」画面

②「パスワードの入力」画面(図 4- 2)が表示されます。あらかじめ登録されたパスワードを入力してから「OK」をクリックすると初期画面が表示されます。

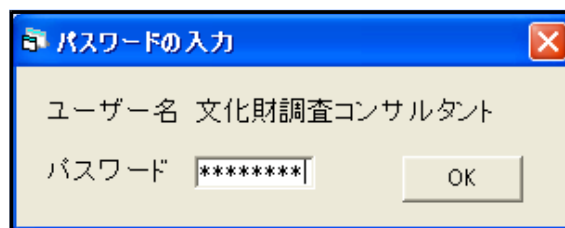


図 4- 2 「パスワードの入力」画面

③「ファイル」→「開く」(図 4- 3)をクリックすると「ファイル選択」画面(図 4- 4)が表示されます。

「最近開いたファイル」でファイルを選んだ場合、「ダイアグラム選択」画面(図 4- 5)が表示されます。

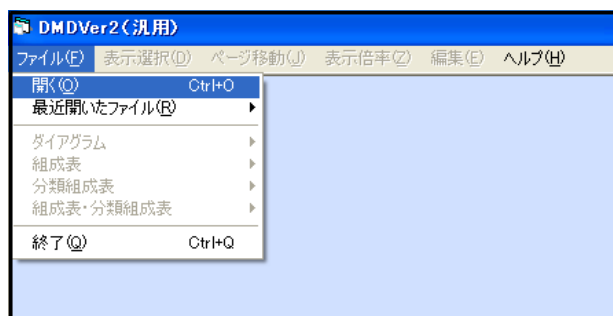


図 4- 3 「メニュー」画面

④ファイルを選びます。「開く」をクリックすると、「ダイアグラム選択」画面(図 4-5)が表示されます。

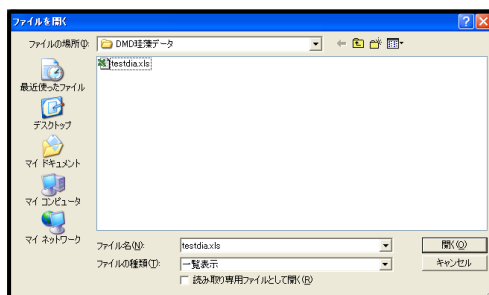


図 4-4 「ファイル選択」画面

⑤表示するダイアグラムを選択し「OK」をクリックします。選択したダイアグラムの中に、カウント総数が0になる試料がある場合は、図 4-6のダイアログが表示されます。ない場合は、選択したダイアグラム(図 5-1)が表示されます。

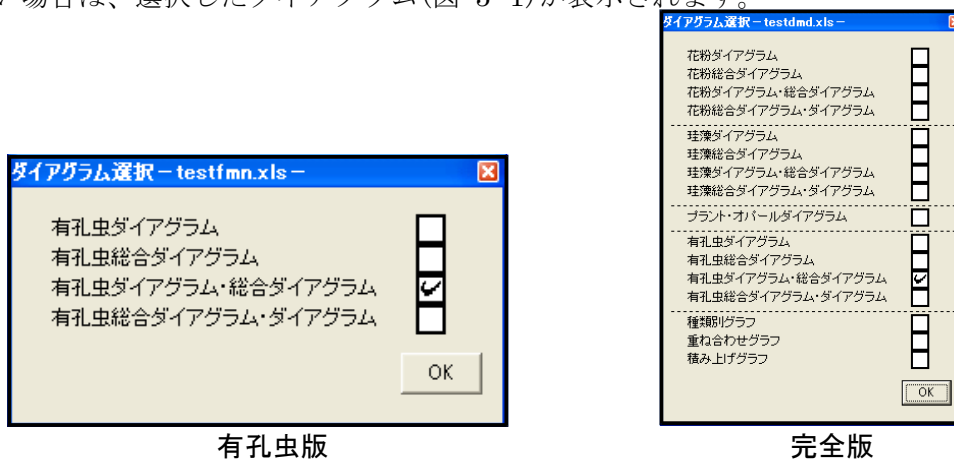


図 4-5 「ダイアグラム選択」画面

⑥カウント総数が0の試料の試料No.の表示/非表示を選択します。該当する試料が複数ある場合、試料毎に選択する必要があります。全ての試料について選択を終えると、ダイアグラム(図 5-1)が表示されます。

「はい」を選択すると、試料No.を表示します。

「いいえ」を選択すると、試料No.を表示しません。

「キャンセル」を選択すると、ダイアグラムの読み込みを中止します。

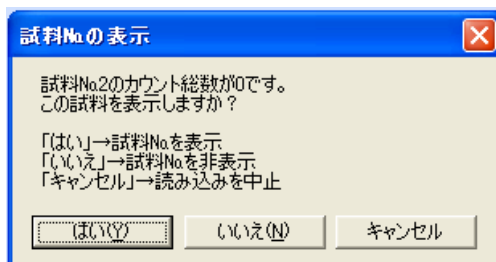


図 4-6 試料No.の表示